

社会資本整備総合交付金 事後評価シート  
浅草地区(Ⅱ期)

平成29年 3月

東京都台東区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	台東区		地区名	浅草地区(Ⅱ期)			面積	230ha		
交付期間	平成25年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	123	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(隅田公園、花川戸公園)、地域生活基盤施設(浅草北部地域(情報板整備))										
		提案事業	—										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(花川戸公園)				区単独事業としたため		影響なし				
		提案事業	—				—		—				
	新たに追加した事業	基幹事業	—				—		—				
		提案事業	—				—		—				
	交付期間の変更	当初	平成25年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—						
	変更	—											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	隅田公園での防災訓練参加団体数	団体/年	0団体	H24	10団体	H28		43団体	○	あり	山谷堀広場を整備したことにより、防災性が向上した。その結果、隅田公園での防災訓練への参加団体数が増加した。	—
	指標2	浅草北部方面への通行者数	人/年	110,000人	H24	130,000人	H28		133,120人	○	あり	築山、山谷堀広場の整備、サイン整備を実施したことにより、浅草北部方面への回遊性、来街者数が増加した。	—
	指標3	隅田公園の満足度	%	45%	H24	70%	H28		80.5%	○	あり	遊具広場、トイレ、築山、山谷堀広場を整備したことにより、公園利用者全体の満足度が向上した。	—
	指標4	—									あり		
指標5	—									あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	—											
	その他の数値指標2	—											
その他の数値指標3	—												
4)定性的な効果発現状況	隅田公園整備により、隅田公園花の名所づくりのボランティア活動にて、築山周辺でミニハマワリや菜の花の種まきや花壇管理を年12回程度実施している。また、遊具広場や山谷堀広場の健康遊具では、整備前に比べ利用者が増えた。梅園を拡張したことで、メインの園路だけでなく河川側へのアクセスが向上した。言問橋側の公園入口を拡張したことで浅草北部方面への回遊性も高まった。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		
	住民参加プロセス	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		
	持続的なまちづくり体制の構築	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		

## 様式2-2 地区の概要

### 浅草地区(東京都台東区) 社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 国際観光都市としての魅力を高め、賑わいが広がるまちづくりの推進 目標1: アクセス環境充実による集客力、回遊性の強化 目標2: 隅田川の水辺と地域の活性化に向け、住民や来外者等の利便性向上、交流促進 目標3: 隅田川周辺地域の防災性向上	隅田公園での防災訓練参加団体数	単位: 団体/年	0団体	H24	10団体	H28	43団体	H28
	浅草北部方面への通行者数	単位: 人/年	110,000人	H24	130,000人	H28	133,120人	H28
	隅田公園の満足度	単位: %	45%	H24	70%	H28	80.5%	H28
	—	単位:		H		H		H
	—	単位:		H		H		H

**■地域生活基盤施設: サイン整備**

**■基幹事業: 隅田公園整備**  
 (だれでもトイレ整備、防災活動拠点整備、遊具広場再生、築山再生(第二期))

○公園休憩所整備

○東参道・二天門通り整備

○オープンカフェ事業

凡例  
 ■ 基幹事業  
 □ 関連事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>隅田公園の整備については、利用者が公園内を快適に過ごせるための施設(休憩施設、だれでもトイレ)整備と園地整備(築山再生による梅園拡張)により、観光客の回遊性と歩きやすい歩行空間が生まれた。また遊具広場を整備したことにより、公園周辺にお住まいの子連れの方や散歩に訪れる住民の方の満足度向上につながる結果となった。</li> <li>山谷堀広場には地域住民の憩いと健康を増進させる施設(健康遊具)と災害時の防災性を向上させる施設(マンホールトイレ等)を整備したことで、防災訓練の参加団体が増える結果となった。</li> <li>浅草北部地域の回遊性を高めるために、周辺案内地図と多言語による観光案内機能を強化したことにより、浅草北部地域への回遊性向上に寄与した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>隅田公園整備においては、一定の成果が得られたので、今回行った施設の維持管理を適切に行うとともに、利用状況の変化等、今後の動向について注視していく必要がある。</li> <li>また、浅草北部地域への回遊性については、多言語の周辺案内地図を設置したが、今後は国内外問わず観光客が足を運びたいような仕掛けづくりが必要。課題の解決にもつながる山谷堀公園の改修を区単独事業で実施していく。</li> </ul>

# まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
B. 目標を定量化する指標	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
C. 目標値	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
D. その他( )	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園	隅田公園	120	106,702㎡	120	106,702㎡		影響なし	○	
公園	花川戸公園	20	5,241㎡			区単独事業としたため	影響なし	○	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	浅草北部地域(情報板整備)	3	3箇所	3	3箇所		影響なし	○	
高質空間形成施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
オープンカフェ事業		隅田公園内	—	—	平成25年度～		—	
東参道・二天門通り整備		台東区花川戸1・2丁目地内	—	—	平成25年度～平成25年度		—	
公園休憩所整備		隅田公園内	—	—	平成25年度～平成25年度		—	



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	隅田公園での防災訓練参加団体数	団体/年	平成28年度台東区総合防災訓練に参加した団体数(訓練実施日:平成28年11月)	—	—	0団体	H24	10団体	H28	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	43団体	事後評価	○		
指標2	浅草北部方面への通行者数	人/年	隅田公園内、言問橋下における13時半から14時半の1時間の通行者数を土日に測定し、平均値を8倍(8時間/1日当たり)としたものを1日の通行者数とし、1日当たりの通行者数×2日×52(週/年)を土曜日及び日曜日の年間通行者数とする。	—	—	110,000人	H24	130,000人	H28	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	133,120人	事後評価	○		
指標3	隅田公園の満足度	%	隅田公園利用者へアンケートを実施し、各設問ごとに満足度を5段階評価したものを点数化した。			45%	H24	70%	H28	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	80.5%	事後評価	○		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	山谷堀広場の整備により防災施設が充実したことにより、防災訓練への参加団体数が増えた。	
指標2	園地整備(築山の梅園拡張、山谷堀広場の整備)とサイン整備により浅草北部地域への観光客の回遊性が向上した。	
指標3	遊具広場とトイレを整備したことで公園利用者の満足度が向上した。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単 位	基 準 年 度	基 準 年 度	基 準 年 度			
その他の 数値指標1						モニタリング		
						事後評価		
その他の 数値指標2						モニタリング		
						事後評価		
その他の 数値指標3						モニタリング		
						事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (浅草地区都市再生整備計画庁内検討会)	庁内関係課職員 (企画課、財政課、危機・災害対策課、公園課、都市計画課)	平成29年2月3日 (開催1回)	都市計画課 (社会資本整備総合交付金担当課) 公園課 (事業担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標〇	
指標名		隅田公園での防災訓練参加団体数		浅草北部方面への通行者数		隅田公園の満足度			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園(隅田公園)	◎	山谷堀広場を整備したことにより、防災性が向上したことで隅田公園での防災訓練への参加団体数が増加し、結果として、目標数値を達成することができた。	◎	隅田公園の整備と浅草北部方面への案内サインを整備したことにより来街者の回遊性が向上し目標値を達成することができた。	◎	公園の整備によって公園利用者全体の満足度が上がり、目標値を達成することが出来た。		
	地域生活基盤施設(サイン整備)	—		—					
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も継続して防災訓練を実施し、地域住民や地縁団体の参加を促していくよう努める。	整備によって増加した利用者の回遊性をより高めていくため、区単独事業にて山谷堀公園整備を実施していく。	増加した満足度を維持、向上させていくため、施設の維持管理を適切に行っていく。
-------	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (浅草地区都市再生整備計画庁内検討会)	庁内関係課職員 (企画課、財政課、危機・災害対策課、公園課、 都市計画課)	平成29年2月3日 (開催1回)	都市計画課 (社会資本整備総合交付金担当課) 公園課 (事業担当課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
東京スカイツリー開業と第一期の整備に伴い、増加した来街者を北部地域へ誘導する	隅田公園整備(築山の梅園拡張)とサイン整備により、来街者を浅草北部地域に誘導することができた。	なし	
増加した来街者へのサービス向上を図るための休憩施設や便益施設、みどりを活かした修景施設等の整備	遊具広場周辺にベンチやトイレを整備したことで来街者への休憩施設や便益施設が整ったこと、また築山の梅園拡張によってより季節感を感じられる修景が整ったことで来街者の満足度が向上した。	なし	
老若男女多種多様な交流促進の場として活用できる公園の整備	山谷堀広場に健康遊具等を設置したこと、また遊具広場を整備したことにより、住民同士のコミュニケーションの場として活用できる場が増えた。	なし	
北部地域の防災性向上に資する隅田公園整備	山谷堀広場に防災施設(マンホールトイレ等)を整備したことにより、防災性が向上した。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	浅草北部地域への回遊性強化	引き続き山谷堀公園の再整備を図っていく	山谷堀公園の改修

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
—	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
—	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	隅田公園での防災訓練参加団体数	団体/年	0団体	H24	10団体	H28	確定 見込み	○ 43団体	○	あり なし			
指標2	浅草北部方面への通行者数	人/年	110,000人	H24	130,000人	H28	確定 見込み	○ 133,120人	○	あり なし			
指標3	隅田公園の満足度	%	45%	H24	70%	H28	確定 見込み	○ 80.5%	○	あり なし			
指標4				H		H	確定 見込み			あり なし			
指標5				H		H	確定 見込み			あり なし			
その他の数値指標1				H			確定 見込み						
その他の数値指標2				H			確定 見込み						
その他の数値指標3				H			確定 見込み						



**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

**添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

## (5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	区のホームページに掲載	平成29年2月9日～ 平成29年2月23日	平成29年2月9日～ 平成29年2月23日	担当課への郵送、FAX、電子メール、持参	都市計画課 (社会資本整備総合交付金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	都市計画課・公園課での閲覧	平成29年2月9日～ 平成29年2月23日	平成29年2月9日～ 平成29年2月23日		

住民の意見	なし
-------	----

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

### 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	青山学院大学 懸田 豊 教授	平成29年3月17日	都市計画課 (社会資本整備総合交付金担当課) 公園課 (事業担当課)	台東区浅草地区 都市再生整備計画事業 評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	雷門地区町会連合会会長 馬道地区町会連合会会長 清川地区町会連合会会長				

審議事項※1	委員会の意見	
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	方法書に示した各指標の目標値に基づいて、評価値の達成度・達成理由について説明し、成果の評価について妥当であると認められた。
	実施過程の評価	特になし
	効果発現要因の整理	特になし
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案は適正に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
	フォローアップ	特になし
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	公園内における防犯対策の推進について意見があった。(区単独事業にて実施予定)	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 都市再生整備計画(第1回変更)

あさくさちく に き  
浅草地区(Ⅱ期)

とうきょうと たいとうく  
東京都 台東区

平成26年8月4日

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とうきょうと 東京都	市町村名	とうきょうと 東京都	地区名	あさくさちかくに 浅草地区(Ⅱ期)	面積	230 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度				

<b>目標</b>
<p>大目標：国際観光都市としての魅力を高め、賑わいが広がるまちづくりの推進</p> <p>目標1：アクセス環境充実による集客力、回遊性の強化</p> <p>目標2：隅田川の水辺と地域の活性化に向け、住民や来外者等の利便性向上、交流促進</p> <p>目標3：隅田川周辺地域の防災性の向上</p>

<b>目標設定の根拠</b>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浅草地区は、浅草寺を中心に発展してきた寺町地域で、江戸時代から多くの庶民が訪れ栄えた。明治時代には六区等の歓楽街も出現し、娯楽・芸能の中心として現在にも受け継がれているが、歓楽街としては他の地域と比較すると衰退は否めない。しかし年間を通して伝統的な祭りや行事が開催され、下町の歴史文化に触れるべく外国人を含め多くの観光客が訪れる日本を代表する観光拠点である。</li> <li>平成16年7月に地元観光関係者、関係機関で構成される「浅草地区観光まちづくり推進協議会」が設置され、観光推進を目的としたまちづくりが継続的に協議されている。</li> <li>平成18年6月に区が学識経験者、関係機関、地元関係団体等で構成する「浅草地域まちづくり検討委員会」を設置し、浅草地域のあるべき将来像を検討し、平成19年6月に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」としてまとめた。</li> </ul> <p>・このビジョンに基づき、浅草地区の第Ⅰ期計画として、平成20年度から平成24年度まで、文化観光センターの整備、隅田公園の展望広場等の整備、水辺散策ルート整備等をおこなってきた。</p> <p>・平成24年5月に墨田区にて開業した東京スカイツリーの開業と前述の整備に伴い、来街者の人数、動線の流れに変化が見られる。言問橋・言問通り以南については、来外者の増加が顕著であるが、北部方面については、明らかな来外者の増加が認められない。</p> <p>・平成24年度実施している台東区地域防災計画の見直しにあわせ、地域防災力の向上を図る必要性が高まっている。広域避難場所に指定されている隅田公園について、今後、北部地域の防災力の向上に資する施設整備が求められている。</p> <p>・本計画は、台東区長期総合計画、台東区都市計画マスタープラン、台東区新観光ビジョン、台東区地域防災計画と適合している。</p>

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京スカイツリーの開業と第一期の整備に伴い、増加した来外者を北部地域へ誘導し、にぎわいが広がるまちづくりを推進するため、浅草地域中心部と北部地域を結ぶ隅田川、周辺を中心としたルートにおける案内機能を向上し、回遊性強化を図る必要がある。</li> <li>第一期による整備を補完し、増加した来外者へのサービス向上を図るため、ベンチ等の休憩施設や公衆の利用に資するだけでもトイレ等の便益施設、桜・梅等のみどりを活かした修景施設等の整備が必要である。</li> <li>老若男女多種多様な交流促進を図り地域活性化を推進するため、交流促進の場として活用できる公園の整備が必要である。</li> <li>北部地域の防災性向上に資する隅田公園の整備が必要である。</li> </ul>

<b>将来ビジョン(中長期)</b>
<p>平成17年3月に策定された台東区長期総合計画に、都市基盤整備として浅草駅周辺地区の整備が計画事業に位置づけられている。</p> <p>平成18年6月に策定された台東区都市計画マスタープランにおいて、浅草中部地区は地域整備の方針として「江戸文化を世界に向けて発信する粋なまち」①伝統ある文化を活かした活気と賑わいのある商業空間の整備②下町文化にふれる歩行者ルートの形成③国際観光都市浅草にふさわしいまちづくりの推進④江戸の風情を感じる街並みの形成⑤隅田川を基調とした景観形成と親水性の向上、があげられている。</p> <p>平成19年6月に策定された浅草地域まちづくり総合ビジョンであるべき将来像が提示されている。</p>

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
隅田公園での防災訓練参加団体数	団体/年	地縁団体等による隅田公園内での防災訓練参加団体数	地域の防災力向上の効果	0団体	24	10団体	28
浅草北部方面への通行者数	人/年	隅田公園における隅田川下流方面から言問橋上流側への土曜及び日曜日の年間通行者数(104日間)	来外者の回遊性向上の効果	110,000人	24	130,000人	28
隅田公園の満足度	%	隅田公園の遊具、トイレ、休養施設、みどりを合わせた満足度(平均%)	来外者の利便性、快適性向上の効果	45%	24	70%	28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・東京スカイツリーをはじめとした近隣の集客拠点との回遊性を強化し、国内外の多くの人びとが訪れ、浅草地区の北部方面へも賑わいが広がるようにする。</p>	<p>公園整備：バリアフリー対応スロープ及び園路整備(隅田公園)                      情報板の整備：地域生活基盤施設(情報板)(浅草北部地域：東浅草・清川・今戸地区周辺)</p>
<p>・地域住民や来街者等の利便性の向上、交流を促進する便益施設、休養施設等の整備を実施し、コミュニケーションの場としての充実を図り、地域の活性化を推進する。</p>	<p>公園整備：                      ・だれでもトイレの整備(隅田公園)                      ・遊具広場及び築山周辺梅園再生に伴うベンチ、コンビネーション遊具等の交流施設整備、憩いの空間整備(隅田公園)</p>
<p>・北部地域の防災力向上に向け、震災時の広域避難場所となっている隅田公園において地域の活動拠点となる広場の整備を行う。</p>	<p>公園整備：                      ・地域の防災活動に資する整備(隅田公園)</p>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	123	交付限度額	49.2	国費率	0.4
---------	-----	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路														
道路														
道路														
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園		隅田公園	台東区	直	106,702㎡	平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	120	120	120	120	
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		浅草北部地域(情報板整備)	台東区	直	—	平成28年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度	3	3	3	3	
高質空間形成施設														
高次都市施設														
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地	拠点開発型													
総合整備	沿道等整備型													
事業	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										123	123	123	0	123

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造														
支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										0	0	0	0	0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
オープンカフェ事業	隅田公園内	民間事業者							H25		
東参道・二天門通り整備	台東区花川戸1・2丁目地内	台東区				○			H25	H25	
公園休憩所整備	隅田公園内	台東区				○			H25	H25	20
合計											20

合計(A+B) 123



都市再生整備計画の区域

あさくさ 浅草地区(東京都台東区)	面積	230 ha	区域	浅草1・2・3・4・6・7丁目、花川戸1・2丁目、雷門1・2丁目、日本堤1・2丁目、東浅草1・2丁目、清川1・2丁目、橋場1・2丁目、今戸1・2丁目の全部他
----------------------	----	--------	----	--

